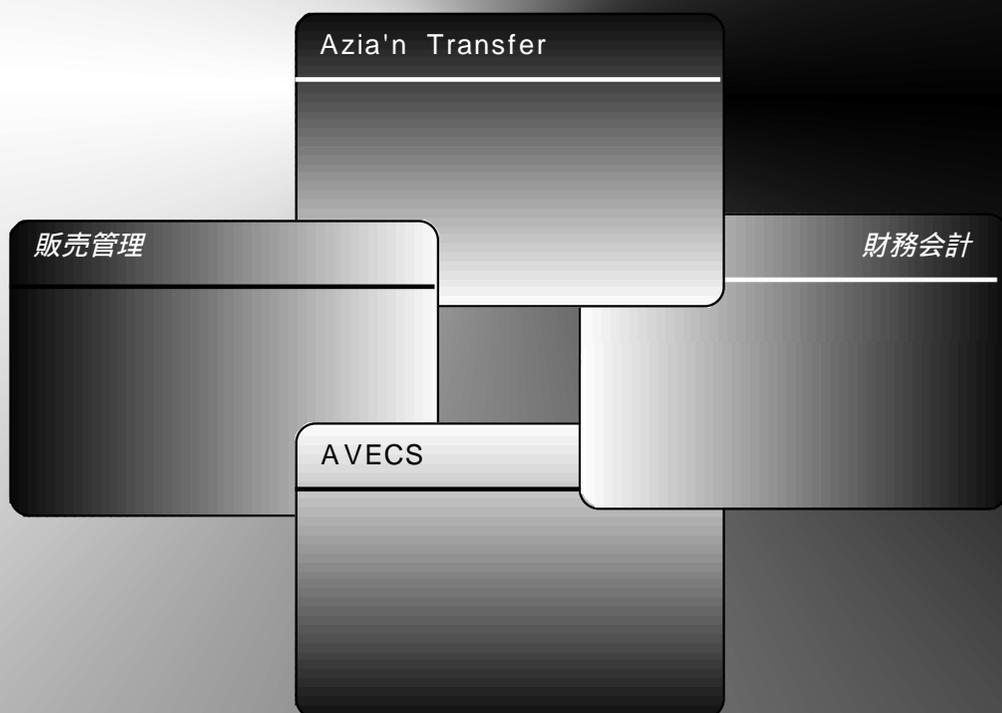


V I Sメニュー管理システム説明書



本ソフトウェアと説明書の著作権は株式会社Imagicaシステムズ[®]及び有限会社ソフト・アンド・ソウルに帰属します。

株式会社Imagicaシステムズ[®]及び有限会社ソフト・アンド・ソウルの許可を得ず、本ソフトウェア及び説明書の一部または全体を、いかなる方法においても複写・複製・翻訳することは、日本国内及び海外において禁じられています。

本ソフトウェアと説明書を使用すること及びそれによる結果として、損害が生じたとしても、株式会社Imagicaシステムズ[®],有限会社ソフト・アンド・ソウル又はその他関係者は一切の責任を負いません。

Azia'n Transferは、株式会社Imagicaシステムズ[®]及び有限会社ソフト・アンド・ソウルの登録商標(申請中)です。

AVECSは株式会社Imagicaシステムズ[®]の登録商標(申請中)です。

本概説書に記載された社名・商品名は各社の登録商標・商標です。

はじめに

本書は、ACOS-4/VIS向け汎用メニューシステム「VISメニュー管理システム」について説明したものです。

本書の構成は以下のようになっています。

第1章では本システムの概要と特徴を述べています。

第2章では本システムが提供する各種画面処理の操作法について述べています。

第3章では本システムが提供する各種サブルーチンの使用法について述べています。

とりあえず本システムを使ってみたい場合は、第1章,第2章をざっと読んでいただいた上で、第3章を必要に応じて参照しながら実際の作業を行って下さい。

1996年7月 初版

備考 本書の説明は「VISメニュー管理システム」リリース2.1に対応しています。

目 次

1, VISメニュー管理システムとは	... 1-1
A, 概要と目的	... 1-2
B, 主な特徴	... 1-3
2, 画面の使い方	... 2-1
A, メニュー画面	... 2-2
B, メニュー情報メンテナンス画面	... 2-4
3, サブルーチンの使い方	... 3-1
A, VMSMENU2(メニュー復帰)	... 3-2
B, VMSPGET(メニュー引継情報取得)	... 3-3
C, VMS050(初期メニュー表示)	... 3-4

6, 使用する端末の定義と注意事項	... 6-1
A, 端末の定義	... 6-2
B, 注意事項	... 6-4

===MEMO===

1. VISメニュー管理システムとは

本章ではVISメニュー管理システム(AVECS/VM)の概要と主な特徴を御紹介いたします。

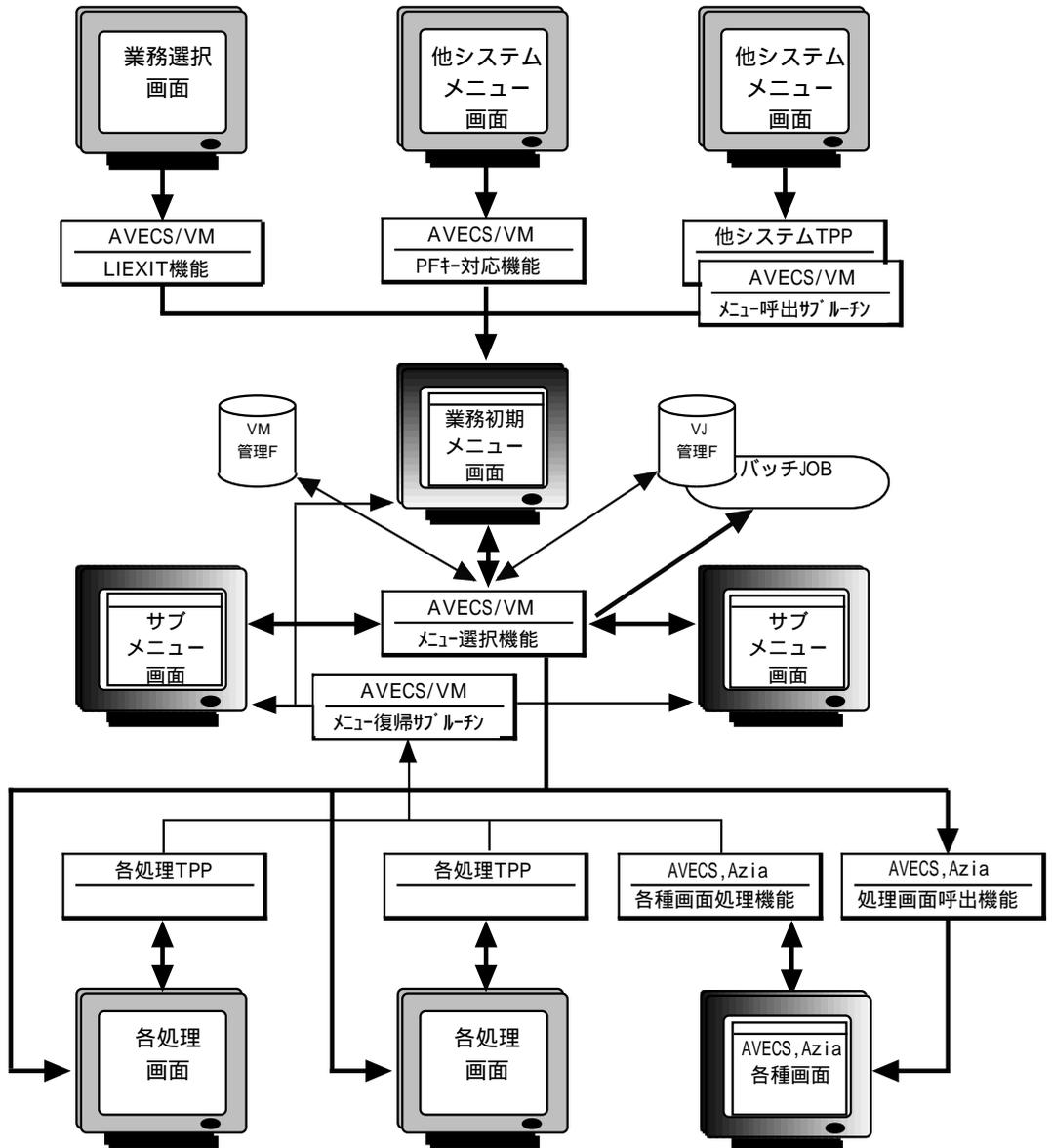
A. 概要と目的

VISメニュー管理システム(AVECS/VM)はVISにおける各種処理選択の為のメニュー機能を汎用的に提供することを目的としています。

本メニューは、LIEEXIT,AP内におけるPFキー押下,もしくは専用のサブルーチンのいずれかによって呼び出されます。又、本メニューからは、各ユーザー-TPPの初期画面,本システムの他のメニュー画面,AVECSやAziaの各処理画面等の選択やAVECS/VJ配下のJOBの起動を行うことが可能です。

尚、各処理から本メニューに戻る時は、基本的には専用のサブルーチンを用いますが、業務処理が問い合わせ(INQ)型のトランザクションとなっている場合はPFキーによって戻るよう設定することも可能です。

システム概要図



B. 主な特徴

- (1) 初期メニューを表示するには3通りの方法があります。

例えば...

- a. LIEXITを使用すればある業務(¥AP)全体を本メニューで管理出来ます。
- b. 既存の業務(¥AP)内の処理が主に問い合わせ(INQ)型トランザクションで構成されている場合は、PFキーを使用して本メニューを呼び出せば、既存のプログラムを修正することなく特定のサブシステムのみを本メニューで管理すること出来ます。
- c. 既存の業務(¥AP)内の処理が主に会話型(CONV)型トランザクションで構成されている場合や、既存のメニューシステムがファイルからメニュー項目を設定するような場合は、専用のサブルーチンを使用して本メニューを呼び出せば、特定のサブシステムのみを本メニューで管理すること出来ます。尚、既存のメニューシステムに戻る為のロジックをサブルーチン形式で提供していただければ本メニューを終了する際にそのサブルーチンを組み込むことも可能です。

- (2) AVECSやAzia'n Transferの加入者管理を利用して表示する初期メニューの内容を加入者毎に設定することが出来ます。

これは営業所,支店,本店といった単位でメニュー内容を変更したい時などに有効です。

尚、本システムではメニューをメニューID+APIDで管理していますので、AP毎に異なる初期メニューを設定しておくことが出来ます。またAPIDに「*COMN」という値を設定すると各AP共通のメニューとみなされ、どのAPIに入った場合も同じメニューが表示されるようになります。

- (3) AVECSやAzia'n Transferと高い親和性を持っています。

例えば...

- a. AVECSやAzia'n Transferの各種検索画面,操作画面を(内容が表示された状態で)呼び出し可能です。
- b. AVECS/VJシステム配下のJOBをメニューより起動することが出来ます。
- c. Azia'n Transferのカタログ送信画面,受信画面を呼び出し可能です。

- (4) メニュー上の表現に幅をもたせることが出来ます。

例えば...

- a. 1つのメニューに最大40個の処理項目を登録出来ます。
- b. 処理項目を選択するための番号は1～99番まで使用可能ですので、処理項目の同一メニュー内でのグループ分けがしやすくなっています。
- c. 登録した処理やメニューの見出しの色も選択可能です。

- (5) 利用者の便宜を図る為のちょっとした機能が充実しています。

例えば...

- a. 最近利用された処理を表示する項目を(最大6個)登録しておくことが出来ます。
- b. メニューからメニューを呼び出していくような場合、入力する番号を「.」でつなげていくことにより次のメニューで選択されるべき処理を直接呼び出すことが可能です。
- c. 番号を入力するかわりにカーソルを位置付けて処理を呼び出すことも出来ます。
- d. 本メニューから直接ログアウトしたりVISから切断することも出来ます。

(6) メニューより選択される処理に対してパスワードや端末IDによる選択可否のチェックを行うことが出来ます。

現段階では本機能はAVECS/VJシステムのパスワード/端末情報の資源を利用して実現されています。

又、選択する際入力したパスワードや項目毎に予め設定しておけるパラメータ情報(最大20桁)を、専用のサブルーチンを用いて本メニューから呼ばれたユーザーTPP内にて取得することも可能です。

このことにより同一TPPに対して呼び元のメニューにより異なるパラメータを与えて実行することが可能となります。

2. 画面の使い方

本章ではVISメニュー管理システムの提供する各種VIS画面について、それぞれの入力項目,表示項目について説明いたします。



カーソルホームキーについて

VISメニュー管理システムの各画面は最上段の処理欄に各種コマンドを入力することにより色々な動作をするようにデザインされています。従ってカーソルが画面上のどこにあってもカーソルホームキーを押すことにより処理欄にカーソルが戻りとても便利です。

ところがPC系端末の場合、N5200などの情報処理系端末ではPF21であったカーソルホームキーの割り当てが既定値としてはShift+Homeキーとなり使いにくくなってしまいました。

そこでキーカスタマイズ機能を利用してVFキー等にカーソルホーム機能を割り当ててしまいましょう。使いやすさが断然ちがいます!

(ETOS52PGにて変更してしまえばETOS52を起動するたびに修正しなくてもよくなります)

A. メニュー画面

VMR050 Azia'n Transfer Menu		95-11-06 12:52:38
番号=> 30		
01	受信/印刷対象ファイル検索&操作	** 各種管理情報 メンテ **
		70 加入者情報 メンテ
		71 送受信端末情報 メンテ
03	ファイル明細情報検索	72 プリンタ端末情報 メンテ
		73 操作説明情報 メンテ
05	受動送受信	
		80 ファイル情報 メンテ
		81 ファイル作成時情報 メンテ
		82 ファイル送信時画面情報 メンテ
		83 ファイル受信時画面情報 メンテ
30	テストファイル1の送信	85 帳表情報 メンテ
31	テストファイル3の送信	
32	テストファイル2の受信	** 最近利用された処理 **
		91 受信/印刷対象ファイル検索&操作
		92 操作説明情報 メンテ
		93 端末情報 メンテ
		94 テストファイル1の送信
		95 受動送受信
		96 帳表情報 メンテ
パスワード オプション		
R 入力可 TCP/IP		

これは本システムにて表示されるメニューの例です。

a. 処理欄に入力可能なコマンドとその意味

- ・ 1~99の番号 ... その番号の処理を呼び出します。
尚、その項目のあたりにカーソルを位置付けることによってもその処理を呼び出すことができます。
選択した処理がAVECS/VJ配下のJOBの起動の場合は、一旦「~処理起動しますか? Y/N」というメッセージが表示されそこで「Y」を入力し実行キーを押すと実際にJOBが起動されます。
- ・ E ... 1つ前の階層のメニューに戻ります。現在表示中のメニューが最初に表示されたメニューであれば、VISの初期画面もしくはこのメニューシステムを呼び出した元の画面に戻ります。
- ・ Q ... VISの初期画面もしくはこのメニューシステムを呼び出した元の画面に戻ります。
- ・ DJ ... AVECS/VJシステムを使用している場合、「加入者別JOB状況検索」画面を呼びだします。
- ・ DO ... AVECS/VWシステムを使用している場合、「帳票出力状況検索&操作」画面を呼びだします。
- ・ LO ... ログアウト(業務からの切断)を行います。
- ・ ¥DIS ... VISから切断いたします。
- ・ R,メニューID ... 指定したメニューIDのメニューを直接呼びだします。本コマンド使用時は特別なパスワード^{注1}の入力が必要となります。
- ・ U,M ... メニュー情報メンテナンス画面を呼びだします。本コマンド使用時は上記の特別なパスワードの入力が必要となります。

^{注1} AVECS/VJのパスワード情報メンテナンス画面にて「SYSMNU」という処理IDが設定されているパスワードでのみ処理可能となります。

b. 各項目の説明

・ パスワード

...

パスワードによるチェックがかかっている処理を選択する場合、本欄にパスワードを入力します。

・ オプション

...

AVESC/VJシステム配下のJOBを起動する場合本欄に入力した文字列がVJ管理パラメータとして当該JOBに引き継がれます。

B. メニュー情報メンテナンス画面

VMR060* *** VISメニュー情報メンテナンス 頁No 2 95-11-06 12:51:06

処理=> W R:読込 1,[頁No]:改頁 W:書込
 I,DL,DD,K,M,P:編集 L:確認 D:削除 9:終了

メニューID APINIT AP名 *COMN チェック区分
 見出し Azia'n Transfer Menu 見出し色 C
 補助メッセージ
 初期メッセージ

No	処 理 名 称	C	K	B	処 理 I D	処理引継パラメータ
30	テストファイル1の送信	Y	C		AZSEND	TESTF1
31	テストファイル3の送信	Y	C		AZSEND	TESTF3
32	テストファイル2の受信	Y	C		AZRECV	TESTF1
40	受動送受信	Y	C		AZACPT	Y

●補足説明
 <C:色> W:白 G:緑 C:シアン B:青 R:赤 Y:黄 M:マゼンタ
 <KB:区分> M:メニュー L:画面 J:JOB <処理ID> M:メニューID L:MFDL名 J:JOB名

R 入力可 TCP/IP

これは本システムのメニューの表示内容をメンテナンスする為の画面です。

a. 処理欄に入力可能なコマンドとその意味

- ・ 0又は空白(表示) ... 現在表示中の画面の最新の状態が表示されます。
- ・ R(読込) ... メニューID及びAP名欄に入力された値に応じたメニュー情報を読み込み表示します。
- ・ 1(改頁) ... 本画面では1つのメニュー情報を4つの頁に分割して表示します。従って当コマンドにて改頁を行います。「1」の後に頁NOを入力すればその頁を表示します。
- ・ W(書込) ... メニューID及びAP名欄に入力された値をキーとして現在表示中のメニュー情報を書き込みます。
- ・ I,VI,K,M,P,KB,PB,DD ... 各種編集用コマンドです。それぞれ「挿入」「可変挿入」「複写」「移動」「位置付け」「バッファへの複写」「バッファからの位置付け」「行削除」を意味しています。それぞれカーソルを位置付けた明細行に対して効力を発揮しません。「W」コマンドを実行しない限りファイルには書き込まれませんので安心して色々お試しください。
- ・ L(確認表示) ... 現在編集中のメニューを試しに表示します。「W」コマンドを実行することなく編集の結果を確認することが出来ます。
- ・ D(削除) ... 現在表示中のメニュー情報を削除します。
- ・ 9(終了) ... メニューに戻ります。

b. ヘッダー部の説明

・メニューID	...	メニューIDを指定します。(必須) 初期メニューのメニューIDは通常「APINIT」となります。
・AP名	...	APIDを指定します。(必須) 本欄の値を「*COMN」とすると、APにかかわりなく使用されるメニューとなります。
・チェック区分	...	現在使用されていません。
・見出し	...	メニューの見出しを指定します。
・見出し色	...	見出しの色を指定します。 (C:水色,W:白色,M:紫色,Y:黄色,G:緑色,B:青色,R:赤色)
・補助メッセージ	...	補助メッセージ(処理欄の右側に表示される)を指定します。
・補助メッセージ色	...	補助メッセージの色を指定します。 (C:水色,W:白色,M:紫色,Y:黄色,G:緑色,B:青色,R:赤色)
・初期メッセージ	...	当該メニューが最初に表示される時、画面24行目に表示されるメッセージを指定します。

c. 処理項目明細部の説明

・NO	...	メニュー上に表示される番号を指定します。 1~99迄自由に指定出来ますが、昇順になっていなければなりません。処理名称等が入力されているのに本欄が省略された場合は、カーソル位置付けによってのみ選択可能な項目となります。
・処理名称	...	メニュー上に表示される処理名称を指定します。
・C	...	番号と処理名称の表示色を指定します。 (C:水色,W:白色,M:紫色,Y:黄色,G:緑色,B:青色,R:赤色)
・KB(1桁目)	...	選択される処理の種別を指定します。
L		TPPの初期画面
M		本システムの他のメニュー
J		AVECS/VJ配下のJOBの起動
C		AVECSやAziaの各処理画面送出等のサブルーチン
・KB(2桁目)	...	当該処理項目に対してパスワードや端末IDによる選択可否のチェックを行うかどうか指定します。 現在のところAVECS/VJのパスワード/端末IDチェック機能が導入されている場合のみ意味を持ちます。 ^{注2}
P		パスワードによるチェックを行う
T		端末IDによるチェックを行う
A		パスワードと端末ID双方でチェックを行う
N		チェックは行わない(既定値)
・処理ID	...	KB(1桁目)の値に応じて、処理を識別する値を以下のように指定します。
KB(1桁目)=Lの時		TPPの初期画面の形式定義(LMFD)名
KB(1桁目)=Mの時		メニューID
KB(1桁目)=Jの時		AVECS/VJにおけるJOBID
KB(1桁目)=Cの時		サブルーチン名等(詳細は2-6を参照の事)
・処理引継パラメータ	...	KB(1桁目)の値に応じて、処理に引き継ぐ値を指定します。 (詳細は2-6を参照の事)

^{注2} AVECS/VJのパスワード情報メンテナンス画面にて該当の処理IDが設定されているパスワードもしくは端末においてのみ処理可能となります。尚、JOB起動の場合はさらにKBN欄に「R」を設定しておく必要があります。

「KB」欄1桁目と処理ID,処理引継パラメータについての補足

a. 「KB」欄を「L」とした場合

処理引継パラメータ欄に文字列を入力すると、その文字列をTPPIにてサブルーチン「VMSPGET」を使用して取得することが出来ます。

b. 「KB」欄を「J」とした場合

処理引継パラメータ欄に何らかの文字列を入力すると、起動されるJOBに対するVJ管理パラメータの1桁目から20バイトにその文字列が設定されます。この場合メニューのオプション欄に入力された文字列は21桁目から設定されます。又本欄の途中に文字「%」を入れると、それ以降の文字列はJOBへの仮パラメータとして見なされます。

尚、本欄が空白の場合や「%」より前に空白以外の文字がない場合はメニューのオプション欄に入力された文字列がVJ管理パラメータの1桁目から設定されます。

c. Azia'n Transferを導入している場合

「KB」欄を「C」とし、「処理ID」欄に以下の処理識別名を指定することにより各処理の実行画面(カタログ転送における転送確認画面や各種検索画面における1頁目の画面)を直接表示することが出来ます。

処理によっては「処理引継パラメータ」欄にパラメータを設定する必要があります。複数のパラメータを設定する場合は間を「,」(カンマ)で区切ります。1番目と3番目のパラメータを設定する時は、「パラメータ1,,パラメータ3」というように設定します。

- ・ AZSEND又はAXS_30 ... カタログ送信処理

この時「処理引継パラメータ」欄には実行すべき送信カタログ情報を次の形式にて設定します。

パラメータ形式 ... ファイルID,宛先加入者,発生源加入者

- ・ ファイルIDの指定は必須です。

- ・ 宛先加入者を省略すると既定ホスト側加入者(通常は「AZSYSTEM」)を宛先加入者とみなします。

- ・ 発生源加入者を省略すると当該端末の基本所属加入者を発生源加入者とみなします。

- ・ AZRECV又はAXS_31 ... カタログ受信処理

この時「処理引継パラメータ」欄には実行すべき送信カタログ情報を次の形式にて設定します。

パラメータ形式 ... ファイルID,宛先加入者,発生源加入者

- ・ ファイルIDの指定は必須です。

宛先加入者を省略すると当該端末の基本所属加入者を宛先加入者とみなします。

- ・ 発生源加入者を省略すると「*」(加入者不特定)とみなします。

- ・ AZACPT又はAXS_32 ... 受動転送処理

この時「処理引継パラメータ」欄には次のパラメータが設定可能です。

パラメータ形式 ... 加入者宛要求受付区分,加入者

- ・ 加入者宛要求受付区分を「Y」にすると加入者宛転送要求を受け付け、「N」にすると受け付けません。省略すると端末毎に設定されている既定値に従います。

- ・ 加入者は当該端末の基本所属加入者以外の加入者宛転送要求を処理したい時のみ指定します。

- ・ AZDO又はAXS_51 ... 受信/印刷対象ファイル検索&操作
この時「処理引継パラメータ」欄には次のパラメータが設定可能です。
パラメータ形式 ... 宛先加入者,表示対象,表示範囲
 - ・ 宛先加入者は当該端末の基本所属加入者以外の加入者宛のファイルを表示したい時のみ指定します。
 - ・ 表示対象を「X」にするとデータファイルのみ表示します。「W」にすると帳票ファイルのみ表示します。省略すると双方とも表示します。
 - ・ 表示範囲を「P」にすると未出力のファイルのみ表示します。「A」にすると出力済のファイルも表示します。省略すると「P」とみなされます。
- ・ AZDF又はAXS_52 ... ファイル別明細状況検索
この時「処理引継パラメータ」欄には次のパラメータが設定可能です。
パラメータ形式 ... 表示対象,ファイルID,更新モード
 - ・ ファイルIDを指定する時、それがデータファイルならば「X」帳票ファイルなら「W」を指定します。
 - ・ 最初に表示したいファイルが決まっている時、そのファイルIDを指定します。
 - ・ 更新モードを「S」にすると検索機能のみ使用可能となります。「U」にするとファイル明細状態の更新も可能となります。省略すると「S」とみなされます。

d. AVECS/VJを導入している場合

「KB」欄を「C」とし、「処理ID」欄に以下の処理識別名を指定することにより各種処理画面を直接表示するようにすることが出来ます。

処理によっては「処理引継パラメータ」欄にパラメータを設定する事も出来ます。

- ・ VJR010 ... JOBグループ一覧検索処理
- ・ VJR070 ... JOBグループ別JOB実行状況検索処理
この時「処理引継パラメータ」欄には表示したいJOBグループを次の形式にて設定します。
パラメータ (2桁目から6桁) ... JOBグループコード
 - ・ JOBグループを省略すると何も初期表示されません。
- ・ VJR080 ... 加入者別JOB実行状況検索処理
この時「処理引継パラメータ」欄には表示したい加入者を次の形式にて設定可能です。
パラメータ (2桁目から6桁) ... 加入者コード
 - ・ 加入者コードを省略すると当該端末の属する加入者とみなされます。

e. AVECS/VWを導入している場合

「KB」欄を「C」とし、「処理ID」欄に以下の処理識別名を指定することにより各種処理画面を直接表示するようにすることが出来ます。

処理によっては「処理引継パラメータ」欄にパラメータを設定する事も出来ます。

- ・ VWR010 ... プリンタ&出力待ち帳票操作処理
この時「処理引継パラメータ」欄には表示したいプリンタIDを次の形式にて設定可能です。
パラメータ (1桁目から6桁) ... プリンタID
 - ・ プリンタIDを省略すると当該端末の属する加入者もしくは端末の情報に定義されているプリンタ群の1つ目プリンタIDと見なされます。
- ・ VWR030 ... 帳票出力状況検索&操作処理
この時「処理引継パラメータ」欄には表示したい加入者を次の形式にて設定します。
パラメータ (1桁目から1桁) ... 表示画面区分
 - ・ 「V」にするとオンライン生成帳票一覧が、それ以外の場合はバッチ生成帳票一覧が表示されます。
(2桁目から6桁) ... 加入者コード
 - ・ 加入者コードを省略すると当該端末の属する加入者とみなされます。

=== MEMO ===

3. サブルーチンの使い方

本章ではVISメニュー管理システムの提供する各種サブルーチンについて説明いたします。

A. VMSMENU2(メニュー復帰)

(1) 機能

本システムのメニューから呼ばれた各TPPIにおいてメニューに戻る時使用するサブルーチンです。

(2) パラメータ

- a. VISUCA ... VISUCAをそのまま指定します。
- b. FILEn ... VDLの「¥TRNS」の「FILEn」文にVM管理ファイル (FILEIDは通常VMCTRL)を指定し、その時の「FILEn」をそのまま指定する。

(3) 使用例

```
000110 77 VMSMENU2          PIC X(08) VALUE "VMSMENU2".
                                     :
                                     :
000510     IF IN010-SEL = 9
000520         CALL VMSMENU2          USING VISUCA FILE32
000530         PERFORM PROG-EXIT-RTN THRU  PROG-EXIT-EXT
000540     ELSE
                                     :
                                     :
000910 PROG-EXIT-RTN.
000920 PROG-EXIT-EXT.
000930     EXIT PROGRAM.
```

本サブルーチンをCALLした後はすぐにEXIT PROGRAMすること。

B. VMSPGET(メニュー引継情報取得)

(1) 機能

本システムのメニューから呼ばれた各TPPIにおいて、メニューにてユーザーが入力したパスワード、オプション文字列や、メニュー毎に固定的に与えられる引き渡しパラメータを各処理TPPIにて取得したい時に使用するサブルーチンです。

(2) パラメータ

- a. VISUCA ... VISUCAをそのまま指定します。
- b. FILEn ... VDLの「¥TRNS」の「FILEn」文にVM管理ファイル
(FILEIDは通常VMCTRL)を指定し、その時の「FILEn」をそのまま指定する。
- c. P-VMSPGET ... コピー原文は「CP_VMSPGET」

000010	01	P-VMSPGET.		
000020	02	MPGT-PASS	PIC X(06).	
000030	02	MPGT-OPTION	PIC X(50).	
000040	02	MPGT-PRM	PIC X(20).	
000050	02	MPGT-FIL	PIC X(04).	
000060	02	MPGT-RTN	PIC X(02).	

(3) パラメータ説明

パラメータ	属性	意味・値	説明
MPGT-PASS	X(06)	パスワード	メニューで入力されたパスワードが返却され ます。
MPGT-OPTION	X(50)	オプション情報	メニューで入力されたオプション情報が返却され ます。
MPGT-PRM	X(20)	引継パラメータ	各メニューより固定的に与えられるパラメータ情 報が返却されます。
MPGT-FIL	X(04)	予備	
MPGT-RTN	X(02)	リターンコード	
		OK	正常終了
		IE	ファイルI/Oエラー発生

(4) 使用例

000110	77	VMSPGET	PIC X(07) VALUE "VMSPGET".
000120		COPY CP_VMSPGET.	
			:
000510		INIT-RTN.	
000520		MOVE SPACE	TO P-VMSPGET.
000530		INITIALIZE	P-VMSPGET.
000540		CALLL VMSPGET	USING FILE32 VISUCA P-VMSPGET.
000550			:

C. VMS050(初期メニュー表示)

(1) 機能

本システムのメニューを他システムのメニューTPP等から呼び出す時使用するサブルーチンです。

(2) パラメータ

a. VISUCA ... VISUCAをそのまま指定しますがSPAを以下のように再定義しておいて下さい。(コピー原文は「CP_AVSCALL」)

000010	02	AVSC-SPA	REDEFINES SPA.
000020	03	AVSC-MFDL	PIC X(06).
000030	03	AVSC-TRID	PIC X(06).
000040	03	AVSC-MODE	PIC X(01).
000050	03	AVSC-KEY1	PIC X(08).
000060	03	AVSC-KEY2	PIC X(08).
000070	03	FILLER	PIC X(2019).

b. VISFPTR ... VDLの「¥TRNS」の「FILEn」(nは1～32のいずれでもよい)文にVM管理ファイル(FILEIDは通常VMCTRL)を指定しておくこと。

(3) パラメータ説明

パラメータ	属性	意味・値	説明
AVSC-MFDL	X(06)	画面形式定義名	本メニュー終了時の戻り先画面を指定して下さい。
AVSC-TRID	X(06)	処理ID	空白にして下さい。
AVSC-MODE	X(01)	呼び出しモード	空白にして下さい。
AVSC-KEY1	X(08)	処理キー1	既定値(APINIT)や加入者情報上のメニューIDと異なるメニューを表示したい時、そのメニューIDを指定します。
AVSC-KEY2	X(08)	処理キー2	本メニュー終了時にサブルーチンをCALLさせたい場合にそのサブルーチン名を指定します。 本欄に指定する場合はAVSC-MFDL欄は空白にして下さい。
AVSC-FIL	X(2019)	予備	

(4) 使用例

```

000110 77  VMS050                                PIC X(06) VALUE "VMS050".
                                                :
000310 COPY  VISUCA.
000320 COPY  CP_AVSCALL.
                                                :
000510     IF  IN010-SEL = 20
000520         MOVE  SPACE                        TO   AVSC-SPA
000530         MOVE  "MNU10L"                    TO   AVSC-MFDL
000520         CALL  VMS050                       USING VISUCA VISFPTR
000530         PERFORM PROG-EXIT-RTN              THRU  PROG-EXIT-EXT
000540     ELSE
                                                :
                                                :
000910 PROG-EXIT-RTN.
000920 PROG-EXIT-EXT.
000930     EXIT PROGRAM.

```

本サブルーチンをCALLした後はすぐにEXIT PROGRAMすること。

=== MEMO ===

動作環境等

OS : ACOS-4 AVP/XR R1.1 以降を推奨いたします。
これ以前のOSをお使いの場合は別途ご相談下さい。

PP等 : VIS,VSASがインストールされている事。

VIS メニュー管理 システム説明書

1996年7月初版

(株)Imagicaシステムランド
141 東京都品川区東五反田2-14-1
:03-3280-7521

(有)ソフト・アンド・ソウル
151 東京都渋谷区代々木1-37-2
:03-3370-7051